No. Q54-2182
2014 年 12 月 19 日
Version ： 2

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称:	IP5-314　インクカートリッジ（ブラック）
適用機種：	IP-5520/IP-5620
会社名:	株式会社セイコーアイ・インフォテック
担当部門	品質保証課
住所 ：	千葉県松戸市高塚新田 563
電話番号 ：	047-391-2349
FAX 番号 ：	047-391-0952
推奨用途及び使用上の制限	インクジェットインク

2． 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分 4
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
	生殖毒性	区分 1B

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

シンボル

注意喚起語	危険
危険有害性情報	H318: 重篤な眼の損傷
	H360: 生殖能または胎児への悪影響のおそれ

注意書き

安全対策	P201: 使用前に取扱説明書を入手すること。
	P202:全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
	P280:保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
救急措置	P305 + P351 + P338 + P310:眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。
	P308 + P313:ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
保管	P235:涼しいところに置くこと
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　　混合物

成分	濃度又は濃度範囲（%）	化学特性	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法	安衛法	

ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ	5～10	―	非該当	－	1333-86-4
分散剤	1～5	―	有り	－	非開示
合成樹脂	1～10	―	有り	－	非開示
ｸﾞﾘｺｰﾙｴｰﾃﾙｱｾﾃｰﾄ	10～20	―	有り	－	非開示
ｱﾙｷﾚﾝ(C≠2)ｸﾞﾘｺｰﾙｴｰﾃﾙ	30～40	―	有り	－	非開示
ﾃﾄﾗｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙｼﾞﾒﾁﾙｴｰﾃﾙ	15～25	―	7-1321	－	143-24-8
ｙｰﾌﾞﾁﾛﾗｸﾄﾝ	5～10	―	5-3337	－	96-48-0
ﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝｶｰﾎﾞﾈｰﾄ	10～15	―	5-524	－	108-32-7
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第５７条の２、施行令第１８条の２別表第９）		カーボンブラック 政令番号：130（5～10%）		

4. 応急措置

吸入した場合	ただちに新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、必要に応じ医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、多量の水及び石鹸で洗い落とす。痛みなどの症状がでた場合には、医師の診断を受けること。
目に入った場合	直ちに多量の水で 15 分以上瞼の裏まで完全に洗い流すこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。医師の手当、診断を受けること。
飲み込んだ場合	水でよくロの中を洗浄する。医師の手当、診断を受けること。

5. 火災時の措置

消化剤	粉末消化剤、二酸化炭素、耐アルコール性泡消火剤、水噴霧
使ってはならない消火剤	棒状の水
特有の危険有害性	火災を広げる可能性があるので水流は使用しないこと。 蒸気は空気と爆発性混合物を形成する場合がある。 燃焼生成物に暴露すると健康に有害。
特有の消火方法	指定の消火剤を用いて消火する。消火作業は風上から行う。 周辺の設備に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	屋内の場合処理が終わるまで必要に応じ換気を行う。 漏出した場合は周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入り禁止する。 こぼれた場所は滑りやすいので注意する。作業に際しては保護具（「８．曝露防止及び保護措置」の項を参照）を着用する。適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。河川等に排出により、環境へ影響を起こさないよう注意する。
回収・中和	吸収剤（おがくず・土・砂・ウエスなど）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾でよく拭き取る。
封じ込め及び浄化方法・機材	漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。危険でなければ漏れを止める。 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で覆い更にプラスチックシートで飛散を防止し、雨に濡らさない。除去後、汚染現場を水で完全に洗浄する。
二次災害の防止策	すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火災の禁止）。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体排気	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体排気を行う。
安全取扱い注意事項	皮膚および衣類に触れないようにすること。

蒸気やミストの吸入を避ける。
飲み込まないこと。
眼との接触を避ける。
適切な産業衛生や安全な方法に従って取り扱うこと。
容器を密閉しておくこと。
熱や発火源から遠ざける。
静電放電に対する予防措置を講ずること。
こぼれ、無駄を防止し、環境への放出を最小限に抑えるように注意すること。

接触回避　『10.　安全性及び反応性』を参照。

保管

技術的対策　通常の取り扱いでは必要としない。

混触危険物質　『10.　安定性及び反応性』を参照。

保管条件　強酸化剤から離して保管すること。
換気の良い湯所で保管すること。

容器梱包材料　本製品の通常の取扱いに対して必要ない。
不適切：インクカートリッジを分解すること

8.　暴露防止及び保護措置

管理濃度および許容濃度

	管理濃度(厚生労働省)	許容濃度(産衛学会)	ＡＣＧＩＨ
カーボンブラック	設定されていない	【粉塵許容濃度】 (第２種粉塵)吸入性粉１mg/m3 総粉塵 4mg/m3	TWA 3.5mg/m^3

設備対策　換気の良い室内で使用する。局所排気装置を設置することが望ましい。

保護具

呼吸器の保護具　必要に応じ有機溶剤用マスク等を使用すること。

手の保護具　必要に応じ保護手袋を着用すること。

眼の保護具　必要に応じ眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具　必要に応じ顔面用の保護具を着用すること。

衛生対策　取扱い後はよく手を洗うこと。

9.　物理的及び化学的性質

物理的状態

形状　液体

色　黒色

臭い　溶剤臭

ｐＨ　データなし

引火点　71℃　(セタ密閉式)

燃焼又は爆発範囲　データなし

比重（密度）　1.02-1.04g/ｃm^3

溶解性　水：不溶　　有機溶剤：可溶

10.　安定性及び反応性

安定性　常温、常圧で安定

危険有害反応可能性　水との反応性はない

避けるべき条件　高温

混触危険物質　第一類、第六類の危険物及び高圧ガス

危険有害な分解生成物　燃焼によりＣＯ、ＮＯx 等の有害ガスが発生する。

11.　有害性情報

成　分	急性毒性（経口）mg/kg	急性毒性（経皮）mg/kg	急性毒性（吸入：気体）ppm	急性毒性（吸入：蒸気）mg/l	急性毒性（粉塵、ﾐｽﾄ）mg/l	皮膚腐食性・刺激性	目に対する重篤な損傷・眼刺激性
ﾃﾄﾗｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙｴｰﾃﾙ	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	区分２
γ-ﾌﾞﾁﾛﾗｸﾄﾝ	区分４	区分外	分類対象外	分類できない	分類できない	分類できない	区分１
ﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝｶｰﾎﾞﾈｰﾄ	分類できない	分類できない	分類対象外	分類できない	分類できない	分類できない	区分２

成　分	呼吸器感作性、皮膚感作性	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	吸引性呼吸器有害性
ﾃﾄﾗｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙｼﾞﾒﾁﾙｴｰﾃﾙ	呼吸器感作性:分類できない 皮膚感作性:分類できない	分類できない	分類できない	区分１Ｂ	分類できない	分類できない	分類できない
γ-ﾌﾞﾁﾛﾗｸﾄﾝ	呼吸器感作性:分類できない 皮膚感作性:区分外	分類できない	分類できない	分類できない	区分３(麻酔作用)	分類できない	分類できない
ﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝｶｰﾎﾞﾈｰﾄ	呼吸器感作性:分類できない 皮膚感作性:分類できない	区分外	区分外	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

急性毒性

＜ﾃﾄﾗｴﾁﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙｼﾞﾒﾁﾙｴｰﾃﾙ＞

経口　LD50（ラット）: ＞2,000 mg/kg

＜γ-ﾌﾞﾁﾛﾗｸﾄﾝ＞

経口　LD50（ラット）: 1,582 mg/kg

＜ﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝｶｰﾎﾞﾈｰﾄ＞

経口　LD50（Rat）: 5,140 mg/kg

＜ｶｰﾎﾞﾝﾌﾞﾗｯｸ＞

発がん性　IARC では Group 2B に分類されているが、インクは人に対する発がん物質としては分類できないと報告されている。

12.　環境影響情報

12.1生態毒性

＜γ-ﾌﾞﾁﾛﾗｸﾄﾝ＞

魚毒性	LC50（ブルーギル）：56 mg / L 曝露時間：96 時間
ミジンコ他の水生無脊椎動物に対する毒性	EC50（オオミジンコ）：>500 mg / L 曝露時間：48 時間
藻類毒性	EC50（緑藻類）：>500 mg / L 曝露時間：72 時間
細菌毒性	IC50：4518 mg / L 曝露時間：40 時間

12.2 残留性・分解性

＜γ-ﾌﾞﾁﾛﾗｸﾄﾝ＞　生分解性：容易

生分解：77 パーセント
露出時間：14 日
方法：OECD テストガイドライン 301C

12.3 生体蓄積性

＜ｙ-ﾌﾞﾁﾛﾗｸﾄﾝ＞

分配係数	オクタノール/水 log Pow: -0.566
12.4 土壌中の移動性	情報なし
12.5 オゾン層への有害性	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 廃棄物の処理を委託する場合は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に委託すること
汚染容器及び包装	関連法規ならびに地方自治体の基準に従って、適切な処分を行うこと。

14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
国連輸送名	非該当
輸送危険有害性クラス	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78の附属書IIおよびIBCコードに応じたバルク輸送	非該当
国内規制	消防法及び労働安全衛生法の基準に従い積載・運搬を行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第５７条の２、施行令第１８条の２別表第９)
消防法	危険物　第４類　第三石油類（非水溶性）

16. その他の情報

参考文献	・日本化学工業協会「製品安全性データシートの作成指針（改訂版）」 ・日本産業衛生学会 ・ＡＣＧＩＨ ・ＩＡＲＣ ・ＲＴＥＣＳ ・既存化学物質安全性（ハザード）評価シート（独立行政法人　製品評価技術基盤機構） ・European Chemicals Agen-cy
その他	*「製品安全データシート」の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成していますので、使用原料の情報変更により本データシートの情報が変更される可能性がございます。 *本データシートは、その製品を代表する値であり、安全や品質の保証、規格ではありません。本製品を取り扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じて下さい。 *本データシートは日本国内法を基に作成しています。海外に輸出する場合は、外為法や向け先国の化学物質管理法規を確認する必要がありますのでご注意ください。 *本データシート（3 項）ではPRTR 法の政令改正前、改正後の情報を併記しております。平成２１年分のPRTR の届出は改正前の第一種指定化学物質に基づき行う必要があ

り、平成２２年４月からは改正後の第一種指定化学物質の把握が必要です。